

11・4日比谷野音へ!

2012年9月24日
No.55

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

9/21 官邸前行動打ち抜く!

9月21日金曜日の夕方から、首相官邸・国会議事堂前と霞が関一帯で、野田政権による原子力規制委員会の発足などの原発推進政策を徹底的に弾劾し、伊方原発を始めとする再稼働に反対する闘いが行われました。首相官邸前の行動には法政大学文化連盟を先頭に全学連の学生も参加し、「全原発を廃炉にしろ!」「再稼働を許さないぞ!」「原発労働者を守れ!」と声を上げました。文科省前では、ふくしま集団疎開裁判の会が、福島の子どもたちの疎開を求めて抗議・宣伝活動を行いました。行動には多くの人々が参加し、文科省を徹底的に弾劾しました。

駆けつけた俳優の山本太郎さんは「放射線管理区域以上の放射線量のところに子どもたちが住んでること自体



文化連盟先頭に全国学生が官邸前に結集!

法大当局による正門封鎖弾劾!



法大では18日の後期開講以降、法大当局と激しく激突しながら法大生との結合が次々と生み出されています。何より処分策動が狙われている文化連盟であり国際文化学部の武田君が最先頭に立ち、処分阻止と学祭規制撤廃、官邸前100万人行動を門前と学内一体となって呼びかけていることが重要です。

この全学連・文連の闘いに追いつめられた法大当局は、9月21日昼休みに何と正門を封鎖する暴挙に手を染めました。断じて許すことはできません。

脅しと恫喝、処分と分断で学生を支配しようとする法大当局に対して、10・19法大デモで徹底的な怒りを叩きつけよう!

が異常だ。子どもたちの命と引き替えに経済を守ろうとする鬼が日本にはいる。一秒でも早く子どもたちを汚染地から出さなければならない。今、声を上げなければ、文科省と国がやっている子ども殺し、棄民政策に手を貸すことになる。だから僕たちは声を上げることをやめない」と力の限り訴え、参加者とともに「避難をさせろ!」と文科省を糾弾しました。

抗議行動は、寸劇、一言メッセージ、歌とさまざまな企画が続き、文科省を弾劾し、「今すぐ疎開させろ」と次つぎと訴えました。寸劇の後には、弁護団から分かりやすい解説がなされました。「山下俊一が2000年に長崎県の子ども250人を検査した結果では、2人(0・8%)しか異常は発見されなかった。福島県の子どもの検査結果がどれくらい異常か明らかだ」「もっと驚くことにとくに症状が悪い子どもに対して2次検査をし、まだ2割くらいの子どものしかすんでいないが、1人に甲状腺がんが発見されてしまった。福島県は、チェルノブイリで甲状腺がんが発見されたのは事故から4年後だから、関係ないと言っているがおかしい」と弾劾しました。

文科省前での行動の後、ふくしま集団疎開裁判の会を先頭に首相官邸に近い財務省前まで移動、22時まで抗議・宣伝活動を続けました。

10・19法大包围デモ

10月19日(金) 12:40

法政大学市ヶ谷キャンパス正門前集合

全学連大会参加者からの感想

●首都圏大学1年

全学連大会に初めて参加しました。全国から学生が集まっており、沖縄の学生の方ともお話しすることができました。実際に問題の起こっている地域の方の声を聞いて、より社会問題について興味がわきました。

自分の大学ではこのような活動に積極的な学生は少ないように思います。活動を広めていくに当たって、自分の大学の学生に少しでも、これらの活動に参加してもらえれば良いなと思いました。

●沖縄の学生

私は、9月5日、6日の全学連大会に沖縄から結集しました。沖縄からの参加は大変ですが、それでも全学連大会には沖縄から参加する意義が十分にあると思い参加を決定しました。参加してみると、やはり沢山の権力のお出迎えがありましたが、すぐに全学連大会の活気や熱気で忘れてしまいました。

最初の佐藤幸子さんのスピーチは、大会を終えた今でも何度も思い出します。

首都圏の学生の3月からの半年間の総括に沖縄の事が入ってなかったのは残念でしたが、もっと沖縄で力強い運動を起こせるように頑張ろうと思いました。そして、福島の子供の話も聞きました。彼が全学連に入ったのは私とほとんど変わりませんが、大学からの監視が沖縄と全然違って、福島大がかなり、学生が立ち上がるのを恐れているのがわかりました。あと、大会の2日間を通して私の近くにいた首都圏の学生が、2日目に自分で手を上げて発言したんですが、「自分も沖縄に行って、沖縄の現状を見たい」と言ってくれたのがとても嬉しかったです。一人の青年の人生を、全学連大会が変えてしまったような気がして、やっぱり全学連大会はすごいなあと思いました。

2日間を通して全学連大会に参加できて本当に良かったと思いました。来年からは沖縄からもう一人連れてきたいと思いました。

●福島大2年

福島から来て今回初めて全学連大会に参加しました。私もそうですが、自分の意見や考えをぶつけあうことが出来て非常に楽しかったです。

私が参加したのは自分の意見を誰に咎められることもなくぶちやけたかったからです。きっとほとんどの人が同じ思いで参加したことだと思います。同時にこうも思いました。そもそもなぜ、ただの学生である我々が、気持ちの悪いおっさん達にストーキングされながら、わざわざこのような場にいななければいけないのか。このような場でなくては自由に発言できないのか。はだしのゲンの中にこんなセリフがあります。「十人いて九人が賛成して一人が反対したらその一人の反対意見をとことん聞いて考えることが本当の民主主義じゃないか」自分たちに都合の悪い意見を言わせない。言うやつは弾圧する。面と向かって言われても聞き流す。はたしてこんなのが民主主義なのか。ただの独裁じゃないか。

片や反論を暴力で叩きつぶす者。片や反論と論争でもって勝利する者。どちらがより文化的で正しいのか。私は断然後者を、全学連を支持します。

●東北大1年

2日間に及ぶ全学連大会は終始通してアツかった！私を筆頭にして大学では講義の始まる前に寝て、終わった後に起きることが常態化しているだろう学友もこの2日間は元気だった。それほど全学連大会は盛り上がった。

今回の全学連大会の中で、京都大学が全学自治会=同学会を再建した教訓は非常に重要だと思う。これは学生運動における金字塔であり、大会に参加した全ての学生に高揚と展望をもたらした。彼らは昨年からの学生とクラス討論を重ね、まさに魂をぶつける議論を不撓に実践してきたと報告していた。その成果が同学会の再建という形で実を結んだのだろう。尊敬の念を抱くとともに、私自身も京大の闘いを教訓化したい。他にも様々な学生の闘いや決意を拝聴できて貴重な体験だった。私もこの大会で得られた糧を活かし、東北大の闘いで更に飛躍したい。

9月21日、全学連中央執行委員会を東京都内で行いました！

11・4全国労働者総決起集会

**新自由主義と闘う労働組合の全国ネットワークを！
JR外注化阻止！ 反原発・反失業、野田倒せ！**

◆11月4日(日)正午～

◆東京・日比谷野外音楽堂にて

【主催】全日本建設運輸連帯労働組合・関西地区生コン支部、全国金属機械労働組合・港合同、国鉄千葉動力車労働組合、国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動

http://www.geocities.jp/nov_rally/

※右写真は、5950人が結集した昨年11月6日の全国労働者総決起集会

